

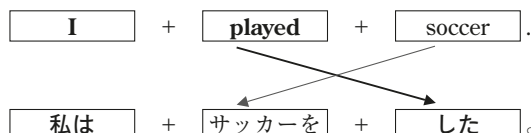


## A 文の要素

**主語と動詞** 主語(S)は日本語の「～は」「～が」にあたり、動詞(V) (述語動詞と呼ばれることもある)は日本語の「～です」「～する」にあたる。主語はS、動詞はVで表す。(Subject: 主語, Verb: 動詞)

**英語の語順** 英語の語順は<主語(S) + 動詞(V) + α>が基本となる。英語では「主語」が文の最初に置かれ、そのすぐ後に「動詞」、その後に「α」がくる。日本語の語順は<主語 + α + 動詞>が基本なので、「動詞」が出てくる順序が英語とは逆になる。

[英 語] 主語 [誰が] + 動詞 [どうした] + α [何を]



[日本語] 主語 [誰が] + α [何を] + 動詞 [どうした]

## B 句と節

**句と節** 句は<主語 + 動詞>を含まない語のまとまりで、節は<主語 + 動詞>を含む語のまとまりをいう。句と節にはそれぞれ、名詞・形容詞・副詞の働きをするものがある。

**名詞句と名詞節** 名詞句と名詞節は名詞の働きをする。文の中で主語・補語・目的語・前置詞の目的語になる。

I know <b>Mike</b> .	(私は <b>マイク</b> を知っています。)
<small>名詞</small>	
I know <b>how to play the guitar</b> .	(私は <b>ギターの弾き方</b> を知っています。)
<small>名詞句</small>	
I know <b>that Jim is honest</b> .	(私は <b>ジムが正直だということ</b> を知っています。)
<small>S V 名詞節</small>	

**形容詞句と形容詞節** 形容詞句と形容詞節は形容詞の働きをする。名詞・代名詞を後ろから修飾する。

I read a <b>short</b> story.	(私は <b>短い</b> 物語を読んだ。)
<small>形容詞</small> <small>↑</small> <small>名詞</small>	
I read a story <b>written in English</b> .	(私は <b>英語で書かれた</b> 物語を読んだ。)
<small>↑</small> <small>形容詞句</small>	
I read a story <b>which Meg wrote</b> .	(私は <b>メグが書いた</b> 物語を読んだ。)
<small>↑</small> <small>S V 形容詞節</small>	

**副詞句と副詞節** 副詞句と副詞節は副詞の働きをする。動詞や形容詞、その他の副詞、文全体を修飾する。

She ate lunch <b>quickly</b> .	(彼女は <b>急いで</b> 昼食を食べた。)
<small>動詞</small> <small>↑</small> <small>副詞</small>	
She ate lunch <b>in the cafeteria</b> .	(彼女は <b>食堂で</b> 昼食を食べた。)
<small>↑</small> <small>副詞句</small>	
She ate lunch <b>after she cleaned her room</b> .	(彼女は <b>部屋を掃除した後</b> , 昼食を食べた。)
<small>↑</small> <small>S V 副詞節</small>	

## ●英語の品詞の種類と働き

品 詞	説 明
名 詞	<p>人・物・事の名前を表す語。文の中で主語・目的語・補語になる。</p> <p>・ The <b>boy</b> was kicking a <b>ball</b>. (その少年はボールを蹴っていた。)</p> <p>・ She is an <b>artist</b>. (彼女は芸術家だ。)</p>
冠 詞	<p>名詞の前に置かれる語。a/an と the の2種類がある。a/an(1つの～)は初めて話題に出る数えられる名詞の前に、the(その～)は前に出てきた名詞や特定できる名詞の前に置く。</p> <p>・ I had <b>a</b> hamburger for lunch. (私は昼食にハンバーガーを食べた。)</p> <p style="padding-left: 40px;">初めて話題に出る名詞</p> <p>・ <b>The</b> hamburger was very good. (そのハンバーガーはとてもおいしかった。)</p> <p style="padding-left: 40px;">前に出てきた名詞</p>
代名詞	<p>名詞の代わりをする語。</p> <p>・ <b>We</b> know <b>him</b>. (私たちは彼を知っている。)</p>
動 詞	<p>主語の動作や状態を表す語。be 動詞と一般動詞があり、どちらにも原形・現在形・過去形などの活用がある。</p> <p>● be 動詞</p> <p>・ I <b>am</b> a high school student. (私は高校生です。)</p> <p>● 一般動詞 (be 動詞以外の動詞)</p> <p>・ I <b>go</b> to school by bus. (私はバスで学校に通っています。)</p>
助動詞	<p>動詞の前に置かれ、話し手の気持ちや判断を付け加える語。</p> <p>・ She <b>can</b> speak French. (彼女はフランス語を話すことができる。)</p>
形容詞	<p>人・物・事の性質や状態などを表す語。名詞を修飾する場合と、補語として主語・目的語の性質や状態を説明する場合がある。</p> <p>・ He gave her some <b>beautiful</b> flowers. (彼は彼女に美しい花をあげた。)</p> <p>・ The flowers are <b>beautiful</b>. (その花は美しい。)</p>
副 詞	<p>動詞・形容詞・副詞などを修飾して、程度・頻度・様子・時・場所などを表す語。</p> <p>・ He spoke <b>very</b> <b>slowly</b>. (彼はとてもゆっくり話した。)</p> <p>・ I met Mr. Brown <b>yesterday</b>. (私は昨日、ブラウンさんに会った。)</p>
前置詞	<p>名詞・代名詞などの前に置かれ、それらの語と共に形容詞や副詞の働きをする語。</p> <p>・ The coat <b>on</b> the chair is mine. (いすの上のコートは私のです。)</p> <p style="padding-left: 40px;">↑ 形容詞の働き (名詞を修飾)</p> <p>・ He put the book <b>on</b> the table. (彼はテーブルの上にその本を置いた。)</p> <p style="padding-left: 40px;">↑ 副詞の働き (動詞を修飾)</p>
接続詞	<p>語と語、句と句、節と節などを結びつける語。</p> <p>・ Lisa <b>and</b> Meg are in the same class. (リサとメグは同じクラスです。)</p> <p style="padding-left: 40px;">語                      語</p> <p>・ I went to bed <b>because</b> I was tired. (疲れていた<u>ので</u>私は寝た。)</p> <p style="padding-left: 40px;">節                      節</p>
間投詞	<p>驚き・感動・喜び・悲しみ・怒りなどの感情や、呼びかけなどを表す語。</p> <p>・ <b>Oh</b>, I'm sorry. (ああ、ごめんなさい。) ほかに、ah, hi, wow, oops など。</p>



## A 平叙文(肯定文と否定文)

Focus 001

- ◆ 1. a. I **am** a student. b. I'm **not** a student.
- ◆ 2. a. I **play** tennis. b. I **don't play** tennis.
- ◆ 3. a. He **can play** the flute. b. He **can't play** the flute.

平叙文は、物事をありのまま述べる文で、〈主語(S) + 動詞(V)...〉の語順になる。

1. **be 動詞**の否定文は、〈**be 動詞 + not**〉の語順になる。
2. 一般動詞の否定文は、〈**do/does/did + not + 動詞の原形**〉の語順になる。

**注意** 一般動詞の平叙文は主語が3人称単数で時制が現在のときは、動詞に-s, -esを付ける(⇒参 付録 2)。

My father plays golf. → My father **doesn't** play golf.

3. 助動詞のある否定文は、〈**助動詞 + not + 動詞の原形**〉の語順になる。

## B 疑問文

Focus 002,003

- ◆ 4. **"Is he a student?"** "Yes, he is." / "No, he isn't." 〈be 動詞 + 主語 ...?〉
- ◆ 5. **"Do you play tennis?"** "Yes, I do." / "No, I don't." 〈Do/Does/Did + 主語 + 動詞の原形 ...?〉
- ◆ 6. **"What did you buy?"** "I bought a T-shirt." 〈疑問詞 + Yes/No 疑問文 ...?〉
- ◆ 7. **"Who plays the hero?"** "Mike does." 〈疑問詞(S) + 動詞(V) ...?〉

4. 5. Yes か No で答えることのできる疑問文を **Yes/No 疑問文** という。
6. 7. 「いつ」「どこで」「誰が」「何を」などの内容を尋ねるときは、when, where, who, what などの**疑問詞**で始まる疑問文にする。
6. 尋ねたい事柄を疑問詞にして文頭に置き、その後は Yes/No 疑問文と同じ語順になる。
7. 疑問詞が主語の場合、主語を疑問詞に置きかえて、〈**疑問詞(S) + 動詞(V) ...?**〉の語順になる。疑問詞は普通、単数扱い。

## C 命令文・感嘆文

Focus 005,006

- ◆ 8. **Be careful.**
- ◆ 9. **Don't touch the paintings.**
- 10. **How beautiful this house is!**
- 11. **What a beautiful house this is!**

8. 9. **命令文**は、相手に命令したり行動を求めたりする文。相手に直接言うため、普通は主語を付けない。
8. 肯定の命令文は「～しなさい」という意味を表す。**動詞の原形**で文を始める。
9. 否定の命令文は「～してはいけません」という意味を表す。〈**Don't [Do not] + 動詞の原形 ...**〉の語順になる。

**注意** 〈**Let's + 動詞の原形**〉は「(一緒に) ～しましょう」という**勧誘**や**提案**を表す表現。

"Let's go shopping."

答えるときは Yes, let's. や No, let's not. と答えるが、OK./Sure.(いいですよ。)や Sorry, I can't.(ごめんなさい、できません。)などと答えることも多い。

10. 11. **感嘆文**は、「なんて～なのだろう」という感動・驚き・喜び・残念な気持ちなどの強い感情を表す文。
10. 形容詞や副詞を強調するときは、〈**How + 形容詞[副詞] (+主語 + 動詞)!**〉の語順になる。
11. 〈**形容詞 + 名詞**〉を強調するときは、〈**What + (a/an) + 形容詞 + 名詞 (+主語 + 動詞)!**〉の語順になる。

# Exercises

1 各文を、肯定文は否定文に、否定文は肯定文に書きかえなさい。 **A**

- 1) She is a good soccer player.  
.....
- 2) I practice the guitar on Wednesdays and Saturdays.  
.....
- 3) My brother didn't study hard last night.  
.....
- 4) His sister doesn't speak Chinese.  
.....
- 5) My friends can arrive in Tokyo tomorrow.  
.....

2 日本語に合うように、( )に適切な語を入れなさい。 **B**

- 1) あなたは外国の文化に興味がありますか。  
( ) ( ) interested in foreign cultures?
- 2) あなたの弟は毎朝早く起きますか。  
( ) your brother ( ) up early every morning?
- 3) ジェーンは明日、パーティーに来ることができますか。  
( ) Jane ( ) to the party tomorrow?

3 下線部が答えの中心となる疑問文を作りなさい。 **B**

- 1) He wrote a long letter to his aunt.  
.....
- 2) Bill walks with his dog in the park.  
.....
- 3) His sister was born in 2008.  
.....
- 4) Goro broke this window yesterday.  
.....

4 日本語に合うように、( )内の語句を並べかえて英文を完成させなさい。 **C**

- 1) この道に沿って歩いてください。  
( this / along / walk / street ).  
.....
- 2) 授業に遅れないでください。  
( late / be / the class / for / don't ).  
.....
- 3) これはなんて高い木なのでしょう。  
( a / tree / what / tall ) this is!  
..... this is!